

原発事故アーカイヴ施設
東電廃炉資料館
コミュタン福島

見学バスツアー

日帰り



2020 年

1月11日 土

参加費 500円

講師：後藤忍准教授（福島大学）

参加募集人数：20 名

申し込み締め切り日：1月7日

集合場所：十六沼公園（福島市）

見学：東電廃炉資料館（富岡町）

コミュタン福島（三春町）

タイムスケジュール

8:30	十六沼公園に集合、出発
10:30	東京電力廃炉資料館着、見学
12:00	東京電力廃炉資料館を出発
13:15	阿武隈高原SAで昼食
14:30	コミュタン福島着、見学
16:00	コミュタン福島を出発
17:00	十六沼公園着、解散



認定 NPO 法人

ふくしま 30 年プロジェクト

主催・問い合わせ

福島市飯坂町字一本松 11-7 TEL: 024-573-5697

<https://fukushima-30year-project.org/>

この事業は、「一食（いちじき）福島復興・被災者支援」事業の助成金を活用して行っています。

福島第一原発事故に関する記録の役割とは？

福島県内では、除染廃棄物の移動などで原発事故後の象徴的な風景が変化していくとともに、事故が急激に過去のこととして忘れられていく感があります。後藤忍准教授（福島大学）は、ウクライナにあるチェルノブイリ博物館を訪問して、震災の教訓を記録・継承するためには公共施設では取り上げられない市民視点のものに、重要な教訓を伝える可能性があるとの指摘をしています。

このことを踏まえ、急速に原発事故の風化が進むなかで、事故の教訓をどう伝え、生かしていくべきか。今回は、福島県内の施設を見学するとともに目指すべき施設の方向性について、解説していただきます。

どう継承する？



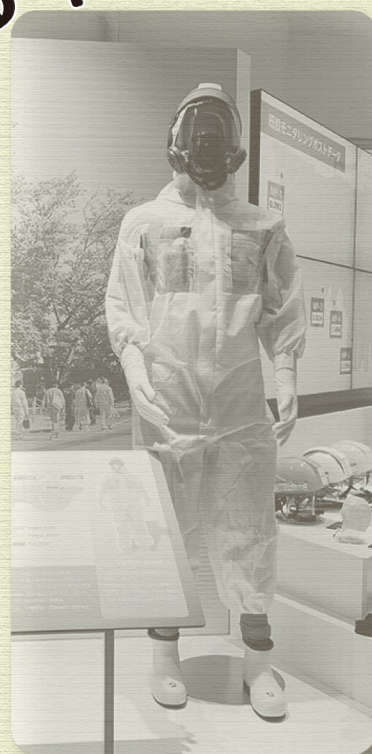
福島県環境創造センター交流棟
コミュニティ福島



コミュニティ福島に展示される事故当時の新聞



東京電力廃炉資料館での映像資料



東京電力廃炉資料館における展示物

【参加お申込書】

ご氏名	ふりがな	電話	
		メール	

FAX 送信先

024 - 573 - 5698

↓ 下記 URL、QR コードのページからの申し込みも可能です。

https://fukushima-30year-project.org/?page_id=11170

申し込み
QRコード

